



令和2年2月17日

各 位

会 社 名 株式会社ピーエイ
代 表 者 代表取締役社長 加藤 博敏
(コード番号 4766 東証第二部)
問合せ先 経営企画部長 阿部 良一
(TEL 03-5803-6318)

営業外収益の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和元年12月期第4四半期会計期間において、営業外収益を計上することとなりましたのでお知らせ致します。

また、営業外収益の計上及び最近の業績動向を踏まえ、令和元年11月14日に公表いたしました令和元年12月期通期連結業績予想の修正を行いましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の内容

当社の取引先であるパーソルキャリア株式会社からanのサービス終了に伴う転職求人メディアdodaへの移行運営支援金53百万円を営業外収益として計上致しました。

2. 通期業績予想の修正（平成31年1月1日～令和元年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,300	百万円 △40	百万円 20	百万円 △70	円 銭 △6.51
今回修正予想 (B)	2,264	△52	17	△65	△6.05
増減額 (B-A)	△36	△12	△3	5	
増減率 (%)	△1.5	—	△15.0	—	
(ご参考) 前期連結実績 (平成30年12月期)	2,551	△7	50	△122	△11.43

3. 修正の理由

売上高につきましては、東急目黒線西小山駅前の商業施設はUR都市機構とのパートナー契約によって令和元年8月に「Craft Village NISHIKOYAMA」として創設し都心の地域再生のモデル的事業を目指しましたが、建築設計の委託先に起因する建築基準法等に関する法令等違反が判明した事によりオープン予定が令和2年中盤に大幅に遅延したことによる影響で売上高が前回予想を下回りました。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、売上原価の低減および販管費の節減に努めてはいるものの、売上高減少により前回発表予想を下回りました。

以上